

地域の動き

シリーズ⑧

地域が一体となって発展する

宇城地域

特色ある三つのゾーンでまちづくり

宇城地域は宇土市、宇土郡、下益城郡の十市町村で構成されています。「宇城はひとつ」という認識のもと、県総合計画に基づき、産業の振興、自然と歴史を生かしたレクリエーション及び定住の場として、三つのゾーンの特色をいかした一体的な発展を目指しています。

①西部海域振興ゾーン

宇土半島に位置するこの地域は、観光、産業などの陸・海・交通の要衝にあり、港湾施設の整備や農業・水産業の振興と併せて自然の造形を生かしたスポーツ観光レクリエーション施設などの整備を図っています。

中部都市振興ゾーン



②中部都市振興ゾーン

圏域の中心部に位置するこの地域は、都市機能の集積度が高く、圏域の中心的役割を担っており、教養文化施設、住環境の整備や優良企業の誘致などの産業の振興、都市機能の整備を図っています。

県では城南工業団地造成などの戦略プロジェクトにより、活力ある工業の推進に力を入れています。

③東部自然観光ゾーン

九州山地の玄関口に位置するこの地域は、山あいの多くの石橋などによる良好な景観を有し、固有の歴史・文化が育まれており、今後は農林業の振興や自然を生かしたレクリエーション施設の整備を進めるとともに、福祉の充実や定住のための住環境の整備を図っています。

現在中央町において今年秋の完成を目指し、総合交流ターミナル基地の整備が行われています。

■宇城広域連合

今年二月に設立された県内では初めての「宇城広域連合」は、宇城地域全市町村で構成されており、当面、圏域内の人材育成や地域間交流、宇城のPRなどを行うための宇城ふるさと市町村圏基金（十億円）の設置や消防、ごみ処理事務などの一部事務組合の統合が進められる予定です。

今後、地域のニーズに応じた新たな広域的取り組みなど多面的な活動が期待されています。



霊台橋(砥用町)

くまもと物語 ⑥ 海へ広がる私たちの夢。新しい交流の歴史が港から始まる。

白い航跡を残して港を出ていく高速船。大きなクレーンで、あわただしくコンテナを積み込む外国の船。汽笛。さわめき。潮の香り。防波堤の脇の船だまりには、一日の漁を終えた漁船が静かに波に揺られています。

古くから産業・経済そして文化の発展を支えてきた港。今回のくまもと物語は、熊本の港と、そこから広がる新しい交流の可能性について見ていきます。

■中世以降、物流拠点として発展

県内には、古くから海上交通の拠点としていくつかの港が栄えていました。例えば、熊本市南部に位置する川尻や玉名市の高瀬地区は、中世以降、交通の要所として発展。特に、江戸時代には大阪や江戸へ送る米や特産物の積み出し基地の役割を担っていたため、大変な賑わいをみせていました。港の近くには米倉や屋敷が軒を連ねていたといえます。



外国船からの荷揚げ風景(八代港)

の港が整備されました。三角港（現在の三角西港）は明治二十年にオランダ人技師ムルドルの設計で完成。日清・日露戦争のころには、米、麦、石炭などの積み出し港として栄えました。八代港は、明治のころから相次いで八代に工場が進出したため、主に工業港として整備が進み、近年では大型船が接岸できる岸壁も整備され、国際貿易港としても発展しています。また、昭和四十八年からは、国と一緒に最新の土木技術を駆使して、熊本の新しい海の玄関として、有明海に熊本港の建設を進めています。現在、島原との間にフェリーや、長崎（茂木）、本渡との高速船が就航しています。

■熊本からアジア、そして世界へ

私たちの暮らしを見回すと、実に多くの輸入品に囲まれていることに気がきます。毎日の食卓も多くの輸入品が彩りを添えています。また、逆にわが国から数多くの工業製品が海を渡っています。貿易は私たち生活を支えるかなめであり、輸出入品のほとんどが港で取り扱われているのです。

県では、地元企業の物流のコスト削減と貿易をいっそう盛んにするために、現在、熊本港と八代港においてコンテナを取り扱うことができるよう整備を進めています。釜山、香港、台湾などのアジアの拠点港や中国、東南アジアとの航路を開拓し、九州の中央に位置する利点を生かして、新しい貿易の流れを創ります。

国内各地、アジア、そして世界の港へ。加藤清正の時代から、多くの物や情報が行き交っていた熊本の海に、新しい交流の歴史が開かれようとしているのです。

県広聴制度のご案内

知事への直行使
県の出先機関、市町村、公立病院、郵便局、銀行などに専用の封筒と便せんを置いて、県民誰もが、自由に県政に対する提案、意見を提出していただけるようにしています。
提出された直行使は、全て知事が目を通します。
県政モニター
県民の中から二百名の方にモニターになっていただき、継続的に県政に対するご意見、ご提案をお伺いしています。

動く県政教室(県政バス)
公募した参加者に、県の施設や事業現場を見学していただき、県政への理解を深めていただくとともに、アンケート等でご意見、ご提案をお伺いしています。

県民相談
県政に関するさまざまな相談をお受けしています。電話による相談も受け付けています。
受付時間 月曜～金曜 九時～二時 三時～六時
096-383-1111(内線3142・3143)

県広報のご案内

「彩り」(熊本のお話を伝えます。A4判28ページ)年間四回(四月、七月、十月、一月)発行
●受読者募集中です。送料として千八百円分四回分の郵便切手を同封のうえ、左記あて先へお申し込みください。

テレビ

- 「RKK」月刊くまもと情報」(毎月一回放送あり)
- 「TKU」くまもと探検隊」(毎週土曜日 二時五十分～三時)
- 「KKT」クロスアップ熊本」(年間一本(三十分))
- 「KAB」くまもとウイークリー」(毎週月曜日 一九時五十分～二〇時)

ラジオ

- 「RKK」ふれあいくまもと」(毎週月曜日～土曜日 一〇時三十分～一〇時三十分)
- 「FMK」県庁ダイアリー」(毎週月曜日～金曜日 七時三十分～七時三十分)
- 「CITY FM」県政番組「CASUAL WALKING」(毎週土曜日 二時五十分～三時)

読者の方々のご意見をお待ちしています。あて先
熊本県広聴課(県からのたより)係
〒862-8570
0963852096
FAX 0963862040

10 総 広
③ 001
R40
古紙配合率40%再生紙を使用しています

クイズ形式の「くまもと探検隊」。写真は水質調査のレポートの様子。